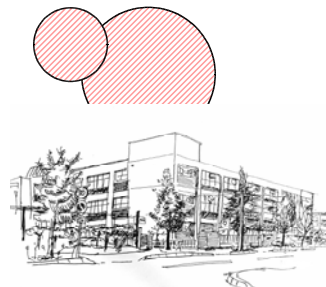


明星中学校だより

知と和と粘り



〒 070-0025 旭川市東5条1丁目

Tel 0166-26-0468 Fax26-0469

E-mail: myojyo@myojyo.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp

■発行責任者 校長 増茂 薫

■発行日 平成24年2月9日

◇第14号◇

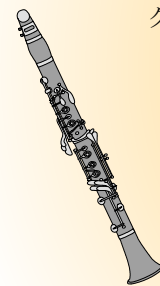
文化明星・体育明星 輝く受賞入賞の様子 2学期から

※順不同、敬称は省略しています。

コンクール等の名称	賞	氏名 (学年一組)
「牛やミルクのある風景画」	銅賞 入選 入選	戸田 莉子 (1-2) 尾中 謙吾 (1-3) 小室 舞夏 (2-2)
第39回「中学生作文コンクール」	優秀賞 入選 入選 奨励賞 奨励賞 奨励賞	橋爪 聡 (2-2) 小松原萌未 (2-4) 高田 結月 (2-1) 鈴木里璃奈 (1-1) 岸 謙佑 (3-2) 佐々木良輔 (3-3)
旭川市児童生徒作品展 一作品展示のご案内 ◆2/16～2/19 ◆9～18時 最終日は16:30 ◆旭川市文化会館	旭川市長賞 旭教研会長賞 特選 特選 特選 特選 特選 特選 入選 入選 入選 入選 入選 入選 入選 入選 入選 入選 入選 入選	佐々木良輔 (3-3) 山本 実季 (2-3) 橋爪 聡 (2-2) 内藤 葉月 (2-1) 小室 舞夏 (2-2) 阿波加 寛 (1-2) 宮澤 葵 (1-1) 能登のどか (1-1) 伊東 恒輝 (2-3) 柳谷 未来 (2-4) 小松原萌未 (2-4) 山内 理菜 (2-3) 大平 莉子 (2-3) 工藤 裕基 (2-4) 木下 美咲 (2-1) 図所 英晃 (1-2) 丸田 真琴 (1-1) 戸田 莉子 (1-2)
「宇宙の日」記念行事全国小中学生 作文絵画コンテスト	優秀賞	藤原 有彩 (1-2)

★第9回U-14旭川地区ジュニアユースフットサル大会
兼 全道フットサル選手権2021 (U-14の部)
優秀選手賞 梅原 海斗 (2-1)

★北海道管楽器個人
及びアンサンブルコンクール旭川地区予選
個人の部 金賞 中田 鈴香 (2-3)
個人の部 銀賞 鳥濱 有花 (2-2)
クラリネット七重奏 金賞



フルート四重奏

姉崎樹里愛 (1-1)
今村智菜美 (1-2)
高瀬 可菜 (1-3)
細野 観冬 (1-3)
稲葉 安美 (2-3)
伊澤 佑梨 (2-4)
柳谷 未来 (2-4)
銀賞
丸田 真琴 (1-1)
宮野 由有 (1-1)
今津 咲紀 (1-3)
鳥濱 有花 (2-2)

★第64回旭川市中学校連盟スキー大会
GSL (大回転) 優勝 北村 光一 (2-2)
SL (回転) 2位 北村 光一 (2-2)

★第45回北海道中学校スキー大会アルペン大会
GSL (大回転) 26位 北村 光一 (2-2)
SL (回転) 34位 北村 光一 (2-2)

★第38回旭川市近隣市町中学校柔道大会新人戦
60kg級 3位 村井 悠人 (1-2)



旭川市児童生徒作品展
旭川市長賞 佐々木良輔

作品講評
(旭教研図工美術部会)
自分をしっかりと見
すえ、とことん表現し
ようとする作者の真摯
な構えがよく表現され
た作品です。描画力の
高さが、背景の描き込
みや細やかな部分の表
現のしかたに表れてお
り、作品の雰囲気をつ
くり出しています。観察力、表
現力がストレートに伝わって
くる秀逸な出来栄の作品です。



今までありがとう
永沼さん

電話応対や接客、印刷から清掃まで陰日向となつて明星中学校を支えていただくことになりました。よろしくお祈りします。



これからよろしく
堀さん

この度、堀

臨時業務吏員だった永沼さんが都合により十二月に退職され、その後任としてこの度、堀香(ほり かおり)さんが着任されました。約一か月間ほど、二人で行うべき仕事をたった一人で切り盛りしていただいた篠田さんに私達は感謝するとともに、堀さんには全校生徒とともに着任式で歓迎の意を表しました。

伝達表彰の場面では、どんなことで表彰を受けたのかの紹介が全校生徒の前であります。その時、名前を呼ばれますので大きな声で返事をして起立しなければなりません。

「受賞はいいけど、あの返事をするのが…得意ではないなあ。」と思っている生徒がたくさんいるようです。緊張するし、皆が座っているときに自分だけが立ち上がり注目を受けるのが、ストレスといえばストレスでしょう。職員室への入室方法も然り。入口で深呼吸までして、口上を心で復唱する生徒の様子が伺えます。こういった実践は、将来必ず、生徒の力になると私達は信じて公教育にあたっています。教育の力は、短期的に見えるものと、後になって忘れた頃にジワッと効果が発揮されるものがあります。たかが「返事」と「起立」ですが、本物が身に付いている人は、いつでもどのような場面でもその力が発揮できるのではないのでしょうか。期待しています。

■発行責任者 校長 増茂 薫

■発行日 平成24年2月9日

◇第14号◇